

# 令和3年度美術館評価調書

(その1)

三岸好太郎美術館

## 【基本的運営方針】 A 優れた作品の収集と保管

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
コレクションの活用状況	コレクションの稼働率	83.0%	79.8%	96.1%	c	所蔵品点数263点（寄託含む）に対し、所蔵品展で149点ならびに特別展で28点、館外展示として三岸サテライト4点、知事室1点、貸し出し28点を含め、計210点を活用し、ほぼ目標を達成することができた。
	所蔵作品を他の美術館企画展で活用					
コレクションの充実度	収集方針に基づき、主体性を持ち積極的に収集活動を行う				b	三岸好太郎が妻・節子を描いた《女の顔（絶筆）》は、節子が生涯手放さず、節子の死後も遺族が保管してきた作品。特別展「貝殻旅行－三岸好太郎・節子展－」開催の記念に出品された。所蔵者から寄付の申し出があり、当館コレクションの充実のため収集した。
保管状況の適切さ	適正な保管環境を保持し、必要な調査に基づき措置を行う 計画的に所蔵作品の修復を行う				a	館内の虫害対策や紫外線量の測定管理など、保管・展示環境の適正な維持に努めるとともに、昨年引き続き、収蔵庫内の整理を行い、脆弱な登録資料については、中性紙による保存箱に分類整理し、保存環境を整えた。5点の作品の額に、低反射アクリルを取り付けた。

## 【基本的運営方針】 Aの評価

評価	コメント（評価の考え方）
B	アートギャラリー北海道事業である北海道銀行コレクションの紹介や、若手作家の展示と並行しながら、当館のコレクションを有効活用した。資料整理とともに、保存に適した額の整備をすすめ、5点の作品に低反射アクリルを取り付けた。

### 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標（計画）を達成している	b	B
目標（計画）をほぼ達成している	c	C
目標（計画）を達成できていない（努力が必要）	d	D
方法に再検討が必要	e	E

# 令和3年度美術館評価調書

(その2)

三岸好太郎美術館

## 【基本的運営方針】 B 多彩で特色ある展示活動の充実

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
常設展示の充実度	常設展示観覧者数	13,824人	5,531人	40.0%	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により休館期間があったことなどから観覧者数は令和2年度と同程度であった。満足度及びリピート率はほぼ目標を達成した。
	常設展示観覧者の満足度	94.5%	92.2%	97.6%		
	常設展示のリピート率	49.0%	47.9%	97.8%		
特別展示の充実度	特別展示の観覧者数	6,670人	6,269人	94.0%	C	日本の近代洋画史上、最も有名な画家夫婦、三岸好太郎と三岸節子の二人が築いた鮮烈な絵画世界を紹介。夫婦の傑作が一堂に会す全国規模の展覧会は1992年以来30年ぶりであり、特にそれぞれの代表作から絶筆までが共演するのは初めてとなる意義深い展覧会となった。
	特別展示観覧者の満足度	95.6%	100.0%	105.0%		
	特別展示のリピート率	54.0%	43.5%	81.0%		
入館者の拡充	美術館の魅力を広め入館者増につながる取組の実施				b	絵本を通じて作品の魅力を紹介する小企画を実施。今年度は、《飛ぶ蝶》をテーマに新作絵本を制作し、原画とともに展示。好評を博した。
展示の状況	展示のねらいが効果的に表現できているか				C	アンケートのコメント欄の記述から、企画及び展示内容への評価が高く、効果的に展示できたと考えられる。
館外展示の充実度	移動美術館入場者満足度	設定なし	設定なし		C	旧三岸好太郎美術館の建物を利用した「北葉楼札幌本館」に、「ミギシ・サテライト」を設置し、来店者に広く作品鑑賞の場を提供し、広報に努めた。
	その他の館外展示の状況					

## 【基本的運営方針】 Bの評価

評価	コメント（評価の考え方）
C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により5月1日から6月13日まで休館となったが、AGH事業北海道銀行コレクションや特別展「貝殻旅行－三岸好太郎・節子展－」などが好評を得ることができた。 また、子どもから大人まで楽しめるスポット展示「《飛ぶ蝶》が絵本になった！」を企画開催し、同様に好評を得ることができた。

### 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

# 令和3年度美術館評価調書

(その3)

三岸好太郎美術館

## 【基本的運営方針】 C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
教育普及事業の充実度	教育普及プログラムの実施数	14回	13回	92.9%	C	新型コロナウイルスの感染拡大を防止する措置として参加人数を制限して実施したが、実績値は昨年度から大幅に増加した。学校教育との連携授業は、三密を避けるなど、感染症対策を講じながら対応した。
	教育普及プログラムの参加者数	924人	506人	54.8%		
	教育普及プログラムの満足度	97.6%	95.0%	97.3%		
	教育普及事業の状況					
美術情報提供の充実度	ARS、図書コーナーの利用者件数	4,585人	1,156人	25.2%	d	来館者数が大きく減じたことに従い、図書利用者の実数も減じることとなったが、満足度は維持した。
	ARS、図書コーナーの利用者満足度	75.9%	77.4%	102.0%		
	多くの来館者が利用できる図書コーナーの環境整備・保持					
	HPアクセス件数	160,934件	79,302件	49.3%		SNSでの発信は、今後も強化していきたい。
	メールマガジン等発行回数	実施なし	実施なし	実施なし		
	ソーシャルメディアの投稿数	313回	242回	77.3%		
	情報発信の状況					

## 【基本的運営方針】 Cの評価

評価	コメント（評価の考え方）
D	コロナ災禍での状況に即応した教育普及活動の在り方の更なる検討が必要。また、SNSの積極的な活用の促進に取り組む必要がある。

### 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

# 令和3年度美術館評価調書

(その4)

三岸好太郎美術館

## 【基本的運営方針】 D 活動の基礎となる調査・研究の推進

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
調査・研究の充実度	学芸員による調査研究				b	一宮市三岸節子記念美術館とともに作品調査をすすめていた「貝殻旅行-三岸好太郎・節子展-」では、同展覧会図録に小論や作家解説などを執筆するとともに、節子美術館でのクロストーク等で研究成果を発表した。北海道美術に関する調査研究では、当館の所蔵品展や道近代美術館を会場にした「この1点を見てほしい」で、その成果を展示に活かした。
	二次資料の状況					

## 【基本的運営方針】 Dの評価

評価	コメント（評価の考え方）
B	特別展「貝殻旅行-三岸好太郎・節子展-」で展示や展覧会図録にこれまでの作品調査の成果を活かすとともに、研究の蓄積を活かして、執筆活動や専門的な照会に応じた。

### 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

# 令和3年度美術館評価調書

(その5)

三岸好太郎美術館

## 【基本的運営方針】 E 地域文化の振興

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
地域の関係機関との連携状況	ボランティア団体等の主体的な事業の参加者数	2,061人	(実施せず)		C	新型コロナウイルス感染防止の観点から、ボランティアの解説活動は、すべて休止となったが、ボランティア向けの特別オリエンテーションは例年通り実施した。解説ボランティアの部内研修にも学芸員が、講師として参加した。
	ボランティアが活動しやすい場の提供					
	地域と連携した取組の状況					
学校との連携の状況	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	2校	2校	100.0%	C	新型コロナウイルス感染症の影響により学校との授業連携の申し込みが減少した。博物館実習の受け入れや、学校の団体観覧に際しては、三密を避けながら、各学校の授業内容に応じて三岸好太郎について解説を行った。12月には、松前高校の1年生を対象に、オンラインで蠣崎波響について出前授業を行った。
	出張アート教室の延べ参加者数	設定なし	(実施せず)			
	指導者研修の延べ参加者数	設定なし	(実施せず)			
	学校教育活動への対応数	13件	6件	46.2%		
	参加者・利用者満足度					

## 【基本的運営方針】 Eの評価

評価	コメント（評価の考え方）
C	新型コロナウイルス感染防止の観点から、ボランティアの解説活動は昨年度に引き続き休止した。学校の美術館利用は、感染対策を講じながら対応した。

### 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

# 令和3年度美術館評価調書

(その6)

三岸好太郎美術館

## 【基本的運営方針】 F 良好な滞在環境の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
附帯施設の充実度	レストラン・喫茶利用者の満足度	94.3%	95.5%	101.3%	b	常設展、特別展を問わず年間を通じて、高い満足度を保つことができた。
	ミュージアムショップ利用者満足度（喫茶に併設）	94.3%	95.5	101.3%		
	事業者と協力してのサービス向上の実践					
館のホスピタリティ	館内スタッフの対応に関する利用者の満足度	93.7%	93.0%	99.3%	c	常設展、特別展を問わず年間を通じて、高い満足度を保つことができた。 来館者に対し、感染予防措置の理解を求めることとなったが、苦情、混乱なく、質の高い鑑賞空間の提供ができた。
	ホスピタリティ向上に向けた取組み					
施設環境の保持	施設内外の環境への満足度	96.2%	96.4%	100.2%	b	常設展、特別展を問わず年間を通じて、高い満足度を保つことができた。 館内の案内板、料金表示など表示パネルをリニューアルし、視認性、清潔感と美観の向上に努めた。
	施設安全性保持のための必要な措置					

## 【基本的運営方針】 Fの評価

評価	コメント（評価の考え方）
B	付帯施設及び館内スタッフへの満足度は、高水準を保つことができた。館内表示板などの整備を行い、視認性と美観の向上に努めた。

## 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E